

WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業
「カリキュラム開発拠点校」

愛媛大学附属高等学校

構想名「高大連携の国際化を通じたSDGsグローバル人材の育成」

令和2年度

WWL 事業 SDGsに関する教員研修会 (第1回)

日時

7月2日(木)13:30～15:15

場所

各高校にてZoom参加

参加校 愛媛県立松山中央高等学校 愛媛県立西条高等学校
京都学園中学高等学校 愛媛大学附属高等学校

演題

「SDGsの達成に寄与する人材の育成に
果たすESDのかたち」

講師

小林 修

愛媛大学国際連携推進機構・准教授
同アジア・アフリカ交流センター・センター長
愛媛大学SDGs推進室・副室長



■略歴・1967年 千葉県生まれ

4歳から10歳までの6年間をアメリカ合衆国ニューヨークで過ごす。

千葉県内の公立小・中学校を卒業，私立国際基督大学高等学校卒業

・北海道大学大学院農学研究科博士課程林産学専攻修了（博士（農学））

北海道大学ヒグマ研究グループに在籍し，ヒグマの保護管理に従事。農学部林産学科に進学後，樹木年輪解析を通じた古環境の復元（大気汚染，気候変動）を研究。

・平成21年愛媛大学国際連携推進機構・准教授

・平成31年4月から，同機構アジア・アフリカ交流センター・センター長

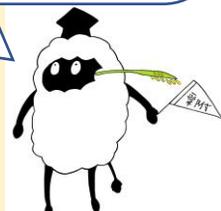
■講演内容

アメリカ合衆国在住経験や，ヨーロッパ諸国，ネパール，インドネシア，中国，モザンビークでの海外経験から，持続可能な社会をつくるためには，アジア・アフリカ諸国が共有する「自然と共生する暮らし方」を基調とすることが大切だと考えています。現在は，SDGsの達成に寄与する人材を育成することを目標に，日本国内はもちろんのこと日本と海外の地域と地域が国境を越えてつながるESDプログラムの開発実践に取り組んでいます。

講演では，国連「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に貢献する人材育成を目指した「ESD（持続発展教育）」の基本理念と実践方法について情報を提供します。教科横断型の学びや，環境教育と国際理解教育，さらに児童・生徒の生活環境（食と健康，消費行動含む）に関して，地域と連携した学習活動を組み入れた学習方法について具体例を一緒に見てゆきましょう。



日本ESD学会
副会長
手島利夫先生の
研究室HPです。
参考になさって
ください。



愛媛大学附属高校
マスコットキャラクター
Mr. Sheep

世界を変えるための17の目標 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

